



長浜曳山まつり



長浜ロータリークラブ

DISTRICT 2650 / 2017-18 / No.2549



国際ロータリー会長 **イアン・H.S.ライズリー**

RI2650地区ガバナー **田中 誠二**

長浜ロータリークラブ会長 **山口 忠義**

ロータリー：
変化をもたらす

愛着と誇り

奉仕を通じて学び、
ロータリーを楽しもう

2018年6月17日(月) 17:30~

第3169回
例会

「東門RC 歓迎例会並びに懇親会」

担当 会長・幹事

- 開 会 点 鐘
- ロ ー タ リ ー ソ ン グ
- 来 客 紹 介
- 食 事 ・ (歓 談)
- 会 務 報 告
- 各 委 員 会 報 告
- 会 長 の 時 間
- プ ロ グ ラ ム
- 閉 会 点 鐘

長浜ローターアクト クラブ報告

6月第1例会は「次年度準備例会」を開催しました。次年度の年間予定表の作成、規約の見直し等を行い、クラブ員が内容をしっかり確認しました。次年度は6人でのスタートとなり、会員もまた少数となりますので、情報は全員が共有しながら各自がリーダーシップを持って活動ができるように努めていきたいと思っております。



歓迎來到日本長濱、
很高興與妳們相見、
請好好享受接下來的時光。



山口会長様、ロータリークラブ会員の皆様及びご家族一同様へ

山口会長様、長浜ロータリークラブ会員の皆様及びご家族の皆様こんにちは。

我々の為に月曜日の例会を早めて今晚行っていたいただき、そして明日は、長浜市内の観光及びランチのご準備までして頂き、心より皆様方へ感謝申し上げます。台北東門ロータリークラブ来訪者全員を代表いたしまして、心より感謝のご挨拶させていただきます。

1992年、我が両ロータリークラブは友好の署名を行い、姉妹提携を結びました。東門ロータリー代表としての長浜ロータリークラブ様への訪問が、私の第一回目の長浜訪問で「長浜」という名前が深く印象に残りました。

その後、我々台湾の東部で同じ名前の長浜村が存在することを知り、国立長浜小学校に湿地生態池を作りました。私の家族も日本への旅行は大好きです。毎回「長浜」という名前を目にする毎に、すこく身近に感じ、長浜に我々の友人がおられると思うと、外国旅行での孤独も寂しさもありません。

さて、先程申し上げました長浜国立小学校の湿地計画は、わが東門ロータリークラブのここ近年の3つの社会奉仕のひとつです。その折りには、ロータリー基金の補助金交付金 (Matching Grants) の申請など、長浜ロータリークラブの皆様方が計画の成功に尽力してくださいました。この場をお借りしまして心より感謝申し上げます。次第でございます。

我々も小学生の絵の相互展示会、長浜ローターアクト様が制作された美しい貼紙作品 (貼り絵) の国立長浜小学校への贈呈など、これらすべて継続していくべき国際交流および青少年交流活動としてこれからも推し進めてまいります。我々両ロータリークラブは20年間にわたり様々な形式での交流、そして友情を深めてまいりました。我々の交流が未永く永遠に続く事を願っております。

最後に長浜ロータリークラブ様の隆盛と、メンバーの皆さまとご家族の皆様のご健康とご多幸を御祈念申し上げます。

台北東門扶輪社
2017-18年社長 林 廷祿 (Mark)

東門扶輪社 歓迎

尊敬的東門扶輪社社長林廷祿先生，前總監林華明先生，各位來賓，大家好。我代表長濱扶輪社，歡迎東門扶輪社。

自1992年我們兩社締盟以來，已經26年了。我希望增進我們兩社之友誼，長久交往下去。

最後，祝大家身體健康，工作順利，謝謝大家。

長濱扶輪社
2017-18年社長 山口 忠義。

隣接クラブプログラム

- 6月19日 (火) / 長浜北RC
「1年を振り返って」
- 6月21日 (木) / 彦根RC
「理事期末挨拶」
- 6月22日 (金) / 長浜東RC
「RYLA 報告」

2017 - 18年度 理事・役員

会報・記録	副会長	副会長	青少年奉仕	国際奉仕	社会奉仕	職業奉仕	ロータリー財団	クラブ委員	副会長	会長	幹事	幹事	会長			
高橋 政之	眞杉 義和	澤村 正平	野本 浩司	小堀 仁	国友 隆房	初山 純一	松本 茂之	原馬 良典	三ツ橋武男	吉持 和昭	関谷 松男	森屋健太郎	竹下 敏隆	本城 善男	伊藤 寿彦	山口 忠義

四つのテスト
言行はこれに照らしてから

- 1. 真実かどうか
- 3. 好意と友情を深めるか
- 2. みんなに公平か
- 4. みんなのためになるかどうか

湖北の古代史「白鳥伝説を伝える伊香氏」

講師：奥びわ湖観光ボランティアガイド協会 理事 伊藤 源一郎様



湖北の小さな湖に天の羽衣伝説が生まれた。周囲6kmにもみえない湖の名を与呉湖という。往古は、琵琶湖を「大江」と呼んだのに対し与呉湖のことは「伊香の小江」伊香の小さい湖と呼ばれたという。伊は神聖といういみあり香は古代では鏡とか銅のことをいいます。したがって伊香は神聖に輝くと云ういみがあります。羽衣伝説には、伊香氏の祖先である人物が伊香刀美と云う名で登場する。羽衣伝説は各地に多くあるが、私たちのこの地に伝わる伝説は世界で最も古く文字化されたのが、わが伊香刀美の物語であり、それは実に1400年以上も前の事である。帝王編年記・養老7年(723)の条や正倉院に残っています。

※ 古老の伝へて日、近江の国・伊香の郡・与胡の郷、伊香の小江。郷の南にあり。天の八女、俱に白鳥になりて、天より降りて江の南に津浦に浴みき。時に伊香刀美、西野山にありて遙に白鳥を見るに、其の形奇異しい。

古老が伝えて言うには、近江の国伊香郡の与呉湖の小江。その小江は郷の南にありました。ある時八人の天女が白鳥になって天から舞い降りて、余呉湖の南の津で水浴びをしました。西の山から偶然、天女の沐浴する様子を覗き見た伊香刀美は、不思議な神々しきうなだれ、近よって見るとまさしくこれは神人たちでした。

天女の美しさに魅せられた伊香刀美はその場でうごけなくなってしまい、とても立ち去ることが出来ません。ひそかに白い犬を遣って天の羽衣を盗みとらしてしまいました。それは一番若い天女の羽衣でした。それに気づいた天女たちは若い天女を残して天上へととびたちましたが、一人だけ地上に残された天女は地人になってしまいました。天女たちが沐浴した所を津浦といいます。伊香刀美は年若い天女と結婚し、この地に住みつきの男の子二人と女の子二人を生みました。この四人が伊香氏の祖先なのです。のちに天女は羽衣を探し出して天に昇ってしまいました。伊香刀美は独り空しく床を守って嘆き悲しんだということです。

伊香具神社には祭神として伊賀津臣命(伊香刀美)が祀られています。長男は臣知人命、次男は梨迹津臣命、長女は伊是理比賣、次女は奈是理比賣と云います。臣知人命と梨迹津臣命は余呉町下余呉の江戸の乎彌神社に祀られて居り、高月町の天森の天川命神社には伊香氏の人が27人祀られています。高月町馬上の走落神社には天兒屋根が祀られています。木之本町木之元の意富布神社には弟の梨迹津臣命が祀られています。木之本町杉野の本宮横山神社には伊香津臣命が祀られています。伊香刀美は送り名を伊香津臣命と云い伊香津臣命の次に弟の梨迹臣命が継いで居ります。臣知人命の子(伊香瓦臣安部)は壬申の乱(672)に天武天皇軍に将軍として活躍し、高市皇子の舎人となり都に出ています。

※この記録は与呉の湖の白鳥伝説として日本書紀・帝王編年記と正倉院に記録が残されている。

追記：羽衣伝説は日本各地に存在する伝説。その多くは説話として語り継がれている。最古の羽衣伝説とされるものは風土記逸文として残っており、滋賀県長浜市の余呉湖を舞台としたものが『近江国風土記』に京都府京丹後市峰山町を舞台としたものが『丹後国風土記』に見られる。どちらも1200年以上前に書

かれたものであるが、特に『近江国風土記』に書かれている件が日本最古の羽衣伝説として有名であり、ここから各地に広まりその地に根付いたものと考えられる。

釣り同好会の報告

6月13日、天候にも恵まれて10人で三方のフィッシングレインボーに行き楽しんで来ました。成果は、カンパチ2匹、シマアジ7匹、鯛 55匹夜は仲間とで料理をお願い懇親会を行いました。



◆出席報告

月日・回	内容	会員総数	免除会員	事前出席	事後出席	ホームクラブ	出席率
5/28	3166	57	6	2	1	47	90.91%
6/4	3167	57	6	0	0	47	87.04%
6/11	3168	57	6	2		48	89.29%

例会プログラム予定

●次回 6月25日

「年度末懇親会 (夜間例会)」

担当 会長・幹事

●次々回 7月2日

「新年度の抱負」

講師：次年度会長・幹事
担当：次年度会長・幹事

・・・童心にかえろう・・・肩書をおとそう・・・年令を忘れよう・・・